

社会心理学の知見からの考察

根本的な帰属の誤り

- ◆ 「根本的な帰属の誤り」(fundamental attribution error)
- ◆ 個人の行動を説明するにあたって、気質的あるいは個性的な面を重視するあまり、状況的な面を軽視する傾向があるという現象（アメリカ人）
- ◆ Miller (1984)によればインド人は状況的な面を重視するという根本的な帰属の誤りと逆の傾向を持っていることが示された。
- ◆ Miller, Joan G. (1984) "Culture and the development of everyday social explanation," *Journal of Personality and Social Psychology*, 46:5, 961-978.

社会心理学における「意図性」と「責任」の概念

- ◆ Malle, Bertram F., and Joshua Knobe (1997) “The folk concept of intentionality,” *Journal of Experimental Social Psychology*, 33, 101-121.

- ◆ (69) **Folk concept of intentionality**



介在性の他動詞文(佐藤(2005))

- ◆ 佐藤琢三(2005)『自動詞文と他動詞文の意味論』
笠間書院
- ◆ (70) a. 山田さんが家を**建てた**。
- ◆ b. 患者が**注射をした**。
- ◆ (71) a. 浩が顔写真を**撮った**。(介在性可能)
- ◆ b. 浩が似顔絵を**描いた**。(介在性不可能)
- ◆ (72) 山田さんが家を**設計した**。(介在性不可能)